

神津善行プロデュース

朗 読 喜 劇

老婆の仇討ち



中村メイコ



十朱幸代



茅島成美



大出 俊



加賀美幸子



坂田美子

作
神津
善行

出演

中村メイコ
茅島成美
大出俊

特別出演

十朱幸代

語り
加賀美幸子
琵琶
坂田美子



2018年 **12月14日(金)** 14:00開演 (13:30開場)

[会場] ノバホール 茨城県つくば市吾妻1-10-1 ※車でお越しのお客様は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

[チケット料金 (全席指定)]

・一般 3,000円

・友の会 2,700円 ※友の会価格で4枚までお求めいただけます。未就学児入場不可

[主催] つくば市/(公財) つくば文化振興財団

[お問合せ] (公財) つくば文化振興財団 029-856-7007



朗読喜劇『老婆の仇討ち』について

神津善行

何年か前に仇討ちの台本を書く時に、仇討ちの規則の複雑さに驚いたことがある。

例えば親の仇を子は討つ事が出来るが、子が殺されても親は討つ事が出来ないとか、妻を寝取られた場合には「女敵討ち」（めがたきうち）といって妻と寝取った男を標的に出来る以外に、離婚をして一ヶ月以内に夫が再婚した場合にも前妻が後妻に仇討ちをすることが出来た。この仇討ちは殺すのではなく前妻側が女助っ人40～50人でたすき鉢巻きの仇討ち姿をして新居に乗り込み、竹刀やこん棒を持って家財道具の一切を破壊するというものである。後妻は一切逆らうことを禁止されていたそうで、多分前妻の鬱憤を解消させる儀式のようなものであったらしい。それ以外にも「男色」のもつれも敵討ちとして認められており「衆道敵討ち」（しゅうどうかたきうち）として存在していたという。

今回は甲賀・伊賀の忍者の世界の敵討ちを覗いてみることにしました。

忍者一家の老姉妹と娘役が欲しいと女房殿に相談をしたところ、十朱幸代嬢と茅島成美嬢の出演交渉をしてくれ快諾を頂いた。十朱幸代嬢の父上十朱久雄氏は戦前の「テアトル・コメディ」の俳優さんで、父同士が仲の良い友人であったことから戦後劇団を二人で立ちあげて舞台公演をやっていたそうである。この時には幸代嬢はまだ子供で楽屋の布団の上でスヤスヤ。幸代嬢は本名（幸子）であり（さっこちゃん）と呼ばれていたそうであり、今でも女房はそう呼ぶ。そんな仲なので出演して下さった次第。感謝。

老婆の忍法も錆び付き、人情物語がどうしても喜劇になってしまいますがご容赦。

2018年 **12月14日(金)** 14:00開演 13:30開場

ノバホール 茨城県つくば市吾妻1-10-1

※車でお越しのお客様は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

全席指定 一般 3,000円 友の会 2,700円 未就学児入場不可

※友の会価格で4枚までお求めいただけます。

チケット発売日 一般ネット・電話予約：10月7日(日) 10:00～
窓口販売：10月8日(月・祝) 9:00～

チケット取扱い ノバホール ☎029-852-5881 つくばカピオ ☎029-851-2886
(公財)つくば文化振興財団 ☎029-856-7007 財団ホームページ tcf.or.jp

※都合により出演者、プログラムが変更になる場合もございます。予めご了承ください。

※車椅子席をご希望のお客様、介助が必要なお客様は財団へご相談ください。

主 催 つくば市 / (公財)つくば文化振興財団

お問合せ (公財)つくば文化振興財団 ☎029-856-7007